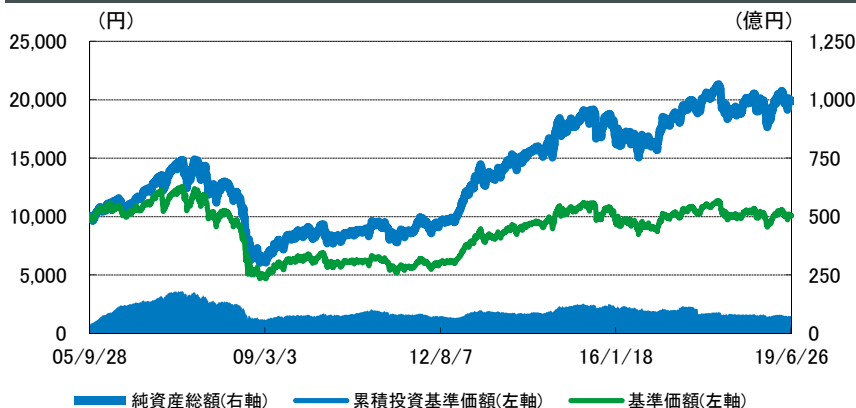


ブラックロック世界好配当株式オープン(愛称:世界の息吹)

追加型投信/海外/株式

累積投資基準価額および純資産総額の推移



※累積投資基準価額は信託報酬控除後の値です。信託報酬等については、後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

※累積投資基準価額は税引前分配金を再投資したものととして算出しています。

税引前分配金

| 分配金累計額 | | 6,020円 | | | |
|--------|-----------------|--------|-----------------|-------|-----------------|
| 第128期 | 2016/7/25 30円 | 第140期 | 2017/7/25 30円 | 第152期 | 2018/7/25 30円 |
| 第129期 | 2016/8/25 30円 ※ | 第141期 | 2017/8/25 30円 ※ | 第153期 | 2018/8/27 30円 ※ |
| 第130期 | 2016/9/26 30円 | 第142期 | 2017/9/25 30円 | 第154期 | 2018/9/25 30円 |
| 第131期 | 2016/10/25 30円 | 第143期 | 2017/10/25 30円 | 第155期 | 2018/10/25 30円 |
| 第132期 | 2016/11/25 30円 | 第144期 | 2017/11/27 30円 | 第156期 | 2018/11/26 30円 |
| 第133期 | 2016/12/26 30円 | 第145期 | 2017/12/25 30円 | 第157期 | 2018/12/25 30円 |
| 第134期 | 2017/1/25 30円 | 第146期 | 2018/1/25 30円 | 第158期 | 2019/1/25 30円 |
| 第135期 | 2017/2/27 30円 ※ | 第147期 | 2018/2/26 30円 ※ | 第159期 | 2019/2/25 30円 ※ |
| 第136期 | 2017/3/27 30円 | 第148期 | 2018/3/26 30円 | 第160期 | 2019/3/25 30円 |
| 第137期 | 2017/4/25 30円 | 第149期 | 2018/4/25 30円 | 第161期 | 2019/4/25 30円 |
| 第138期 | 2017/5/25 30円 | 第150期 | 2018/5/25 30円 | 第162期 | 2019/5/27 30円 |
| 第139期 | 2017/6/26 30円 | 第151期 | 2018/6/25 30円 | 第163期 | 2019/6/25 30円 |

※ボーナス分配対象期
ただし、分配対象額が小額の場合には分配を行わないこともあります。

ファンドのパフォーマンス(%)

| | 1か月 | 3か月 | 6か月 | 1年 | 3年 | 5年 | 設定来 |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 基準価額 | 2.27 | -1.55 | 11.84 | 5.71 | 26.72 | 26.72 | 98.92 |
| BGIS グローバル・ エクイティ・インカム・ポートフォリオ (US\$) | 3.71 | 0.31 | 13.84 | 6.30 | 15.38 | 10.88 | 62.00 |
| 米ドル円 | -1.44 | -2.88 | -2.89 | -2.49 | 4.74 | 6.34 | -4.80 |

※ 基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものととして算出した 累積投資基準価額により計算しています。
 ※ 2007年8月にMLGISグローバル・エクイティ・インカム・ポートフォリオはBGIS グローバル・エクイティ・インカム・ポートフォリオに名称変更致しました。
 ※ BGIS グローバル・エクイティ・インカム・ポートフォリオの騰落率は、各ファンドの米ドルベースの一口当たり純資産価格で計算しています。
 ※ 米ドル円の騰落率は、三菱UFJ銀行が発表する公示仲値を使用しています。

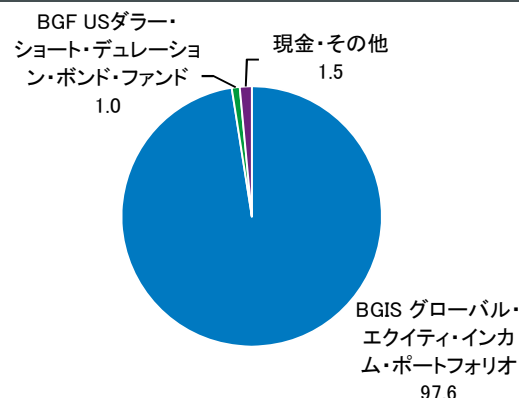
ファンドの目的・特色

- 継続的な配当収入の確保を目指して運用を行ないます。
- 主に世界の好配当株に投資します。
- 当ファンドはファンド・オブ・ファンズ形式で運用します。
- 外貨建資産については原則として為替ヘッジを行ないません。
- 原則として、毎月分配(原則として毎月25日。休業日の場合は翌営業日。)を行ないません。さらに半年毎(2月および8月の決算時)にボーナス分配を行ないません。
※ ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

ファンドデータ

| | |
|---------|------------|
| 基準価額 | 10,070円 |
| 純資産総額 | 74.06億円 |
| ファンド設定日 | 2005年9月28日 |

資産構成比率(%)*



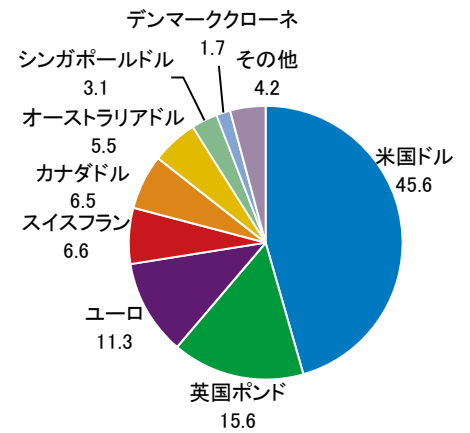
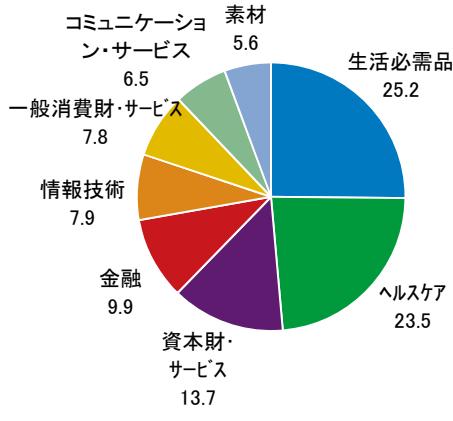
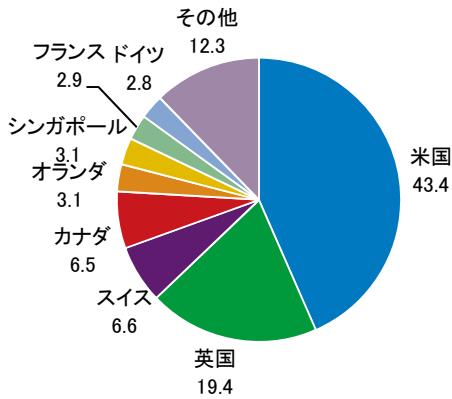
*比率は対純資産総額。四捨五入の関係で合計が100にならない場合があります。

本資料は、当ファンドの理解を深めていただく為の情報提供を目的として、ブラックロック・ジャパン株式会社が作成したものです。本資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等については当社が保証するものではありません。運用実績・データ等は作成日現在および過去のものであり今後の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載された市況やポートフォリオの見通し等は、作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境等の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。本資料に記載された基準価額は信託報酬を控除した後の価額、分配金は課税前の金額を使用しております。投資信託は株式・公社債等の値動きのある証券(外貨建ての場合は為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は変動します。従って元本が保証されているものではありません。ファンドに生じた損益は全て投資家の皆様に帰属いたします。投資信託のお申込みに際しましては、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容をご確認の上お客様ご自身でご判断ください。投資信託は、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。

国別比率(%)*

業種別比率(%)*

通貨別比率(%)*



※ 組入証券全体を100とした場合の構成比です。
 ※ 「業種別比率(%)」の業種は、原則として世界産業分類基準(GICS)による分類です。
 ※ 比率(%)の数字は四捨五入の関係で合計が100にならない場合があります。

組入上位10銘柄(%)*

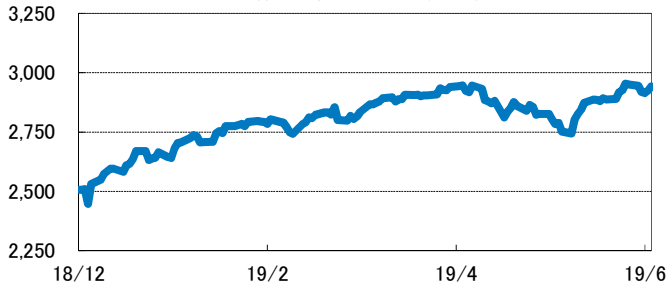
| | | 平均配当利回り 3.7% | | 銘柄数 53 | |
|---------------------|-----|----------------|--|--------|-------|
| 銘柄名 | 国 | 業種 | 会社概要 | 比率 | 配当利回り |
| 1 テリユース | カナダ | コミュニケーション・サービス | テリユースは、カナダの大手通信会社。データ通信、インターネット、音声などの通信サービスを提供する。 | 3.2 | 4.6 |
| 2 ロジャース・コミュニケーションズ | カナダ | コミュニケーション・サービス | ロジャース・コミュニケーションズは、カナダの大手通信・メディア企業。音声・データ通信、ケーブルテレビ、テレビ・ラジオ放送などを行う。 | 3.2 | 2.9 |
| 3 フィリップモリスインターナショナル | 米国 | 生活必需品 | フィリップモリス・インターナショナルは、タバコ・タバコ製品の製造、販売を国際的に行う。 | 3.2 | 5.8 |
| 4 ジョンソン・エンド・ジョンソン | 米国 | ヘルスケア | ジョンソン・エンド・ジョンソンは、消費者向け製品、医者向け製品である医療機器・診断薬、医薬品を提供する。 | 3.2 | 2.7 |
| 5 ジェンユイン・パーツ | 米国 | 一般消費財・サービス | ジェンユイン・パーツは、自動車交換部品・付属品、工業用交換部品、オフィス機器・家具などの販売・流通を行う。 | 3.0 | 2.9 |
| 6 シスコシステムズ | 米国 | 情報技術 | シスコシステムズは、IPベースのネットワーク製品やネットワーク関連製品などの製造、販売などを行う。 | 2.9 | 2.6 |
| 7 アムコー | 英国 | 素材 | アムコーは、包装関連のソリューションの供給を行う。プラスチック、繊維、金属、ガラスなどの包装製品を製造する。 | 2.8 | 2.8 |
| 8 インターナショナル・ペーパー | 米国 | 素材 | インターナショナル・ペーパーは、紙・包装材のメーカー。 | 2.8 | 4.6 |
| 9 グラクソ・スミスクライン | 英国 | ヘルスケア | グラクソ・スミスクラインは、医薬品、医療関連製品の開発、製造、販売などを行う。 | 2.8 | 5.1 |
| 10 ドイツ・ポスト | ドイツ | 資本財・サービス | ドイツ・ポストは、郵便や物流事業などを行う。 | 2.7 | 4.0 |

※配当利回りは、この先1年の予想配当金額(入手できない場合には過去1年の発表済み配当金額)を作成基準日時点の株価で割って表示しております。
 ※本資料は、当ポートフォリオが保有している一部銘柄の概要を記載しているものであり、記載されている個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。
 また、今後の運用成果を保証するものではありません。

* 比率はBGIS グローバル・エクイティ・インカム・ポートフォリオの純資産総額に対する割合

本資料は、当ファンドの理解を深めていただく為の情報提供を目的として、ブラックロック・ジャパン株式会社が作成したものです。本資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等については当社が保証するものではありません。運用実績・データ等は作成日現在および過去のものであり今後の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載された市況やポートフォリオの見通し等は、作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境等の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。本資料に記載された基準価額は信託報酬を控除した後の価額、分配金は課税前の金額を使用しております。投資信託は株式・公社債等の値動きのある証券(外貨建ての場合は為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は変動します。従って元本が保証されているものではありません。ファンドに生じた損益は全て投資家の皆様に帰属いたします。投資信託のお申込みに際しましては、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容をご確認の上お客様ご自身でご判断ください。投資信託は、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。

米国株式市場(S&P500指数)の推移



※グラフは過去6ヶ月の各市場の動きを示します(現地日付ベース)。

6月の世界の株式市場は、欧米の金融緩和期待の高まりが相場を支える形で大幅反発となりました。上旬は、パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長が講演で利下げの可能性を示唆したことに加え、米雇用統計が低調であったことから早期利下げ観測が強まり上昇しました。中旬は、ドラギECB(欧州中央銀行)総裁が追加緩和や利下げの余地があると発言し、欧州で金融緩和期待が浮上したほか、19日には、FOMC(米連邦公開市場委員会)で年内の利下げを見込む参加者が増加していることが明らかとなり、欧米での金融緩和期待が相場を押し上げました。下旬は、世界的に広がる金融緩和期待が相場を支えた一方、月末の米中首脳会談を控え様子見ムードも強まりました。

BGIS グローバル・エクイティ・インカム・ポートフォリオ

1. 運用経過と銘柄におけるパフォーマンス要因

当月、主な投資行動としては、バリュエーションの観点などから台湾セミコンダクターを一部売却しました。一方で、業界のリーダーであり、競合他社よりさらに一歩先に進むことが可能であると判断し、ホーム・デポを購入しました。

(プラス要因)

- 資本財・サービスセクターの銘柄選択。個別銘柄では、証券会社のアナリストによる評価が引き上げられたことなどを背景にシュナイダーエレクトリックが相対的に良好なパフォーマンスとなったこと。また、ドイツポストが相対的に良好なパフォーマンスとなったこと。
- 金融セクターの銘柄選択。

(マイナス要因)

- 生活必需品、特に、タバコセクターの銘柄選択。個別銘柄では、タバコ業界全体で米国の売上が低下していることに加えて、電子タバコに対する規制圧力が強まっていることなどを背景にインペリアル・ブランズが相対的に低調なパフォーマンスとなったこと。
- 情報技術セクターの組入れ低位および銘柄選択。
- 素材セクターの銘柄選択。個別銘柄では、ビーミス社を68億ドル(株式全取得)で買収を完了したアムコアが相対的に低調なパフォーマンスとなったこと。

2. 市場の見通しおよび今後の運用方針

長期的に世界の株式市場は債券のリターンを上回ると見ています。世界経済成長は、2016年から2018年半ばにかけて力強い伸びを見せてきましたが、今後の経済成長は減速するものの依然プラスの成長を見せると考えています。我々は、現在はマクロ景気サイクルの終盤にあると見ており、2012年から2016年にかけて見られたような緩やかな成長になると思われます。長期的には、人口動態の逆風、生産性の減速などの影響を受けて経済成長は低水準になると見ています。しかしながら、米国が金融引き締め姿勢から転換し、世界的に流動性環境は良好で、逼迫した雇用環境は賃金引上げにつながり、更に、消費拡大につながると見ています。経済が低成長で推移する環境においては、株式市場の変動性が高まる局面において、景気後退に対する懸念が生じる傾向があります。しかし、短期的には、経済成長や企業収益はプラスを維持すると考えています。このような環境下において、マクロ経済環境にかかわらず、高い収益率で良好な成長を実現できる企業がパフォーマンスを上げられると考えています。当ファンドでは、ビジネスモデルと財務状況が良好で、配当利回りが市場平均を上回り、長期的に株主に配当を支払う可能性が高いと判断される銘柄を引き続き組入れていく方針です。

※本資料は、当ポートフォリオが保有している一部銘柄の概要を記載しているものであり、記載されている個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。

※「2. 市場の見通しおよび今後の運用方針」については、本資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

また将来について保証するものではありません。

本資料は、当ファンドの理解を深めていただく為の情報提供を目的として、ブラックロック・ジャパン株式会社が作成したものです。本資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等については当社が保証するものではありません。運用実績・データ等は作成日現在および過去のものであり今後の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載された市況やポートフォリオの見通し等は、作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境等の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。本資料に記載された基準価額は信託報酬を控除した後の価額、分配金は課税前の金額を使用しております。投資信託は株式・公社債等の値動きのある証券(外貨建ての場合は為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は変動します。従って元本が保証されているものではありません。ファンドに生じた損益は全て投資家の皆様に帰属いたします。投資信託のお申込みに際しましては、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容をご確認の上お客様ご自身でご判断ください。投資信託は、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。

委託会社

ブラックロック・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第375号

一般社団法人 投資信託協会会員/一般社団法人 日本投資顧問業協会会員/日本証券業協会会員/

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会会員

投資信託説明書(交付目論見書)のお問い合わせ、ご請求

販売会社にご請求ください。

※以下の表は原則基準日時点で委託会社が知りうる限りの情報を基に作成したのですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

| 金融商品取引業者名 | | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
|---------------------------------------|----------|------------------|---------|-----------------|-----------------|--------------------|
| いちよし証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第24号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社SBI証券 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第44号 | ○ | | ○ | ○ |
| クレディ・スイス証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第66号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 松井証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第164号 | ○ | | ○ | |
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第165号 | ○ | ○ | ○ | |
| 三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第180号 | ○ | ○ | | |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| SMBC日興証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第2251号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 高木証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長(金商)第20号 | ○ | | | |
| 株式会社ジャパンネット銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第624号 | ○ | | ○ | |
| 株式会社SMBC信託銀行 ※右の他に一般社団法人投資信託協会にも加入 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第653号 | ○ | ○ | | ○ |
| 株式会社広島銀行 | 登録金融機関 | 中国財務局長(登金)第5号 | ○ | | ○ | |

*印の販売会社では、新規お申込みを受付けておりません。

本資料は、当ファンドの理解を深めていただく為の情報提供を目的として、ブラックロック・ジャパン株式会社が作成したものです。本資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等については当社が保証するものではありません。運用実績・データ等は作成日現在および過去のものであり今後の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載された市況やポートフォリオの見通し等は、作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境等の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。本資料に記載された基準価額は信託報酬を控除した後の価額、分配金は課税前の金額を使用しております。投資信託は株式・公社債等の値動きのある証券(外貨建ての場合は為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は変動します。従って元本が保証されているものではありません。ファンドに生じた損益は全て投資家の皆様に帰属いたします。投資信託のお申込みに際しましては、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容をご確認の上お客様ご自身でご判断ください。投資信託は、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。

0898-201906

投資リスク

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組入れられている有価証券の値動きの他、為替変動による影響を受けます。これらの信託財産の運用により生じた損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。したがって、当ファンドは元金および元金からの収益の確保が保証されているものではなく、基準価額の下落により投資者は損失を被り、元金を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。当ファンドにかかる主なリスクは以下の通りです。

■ 株価変動リスク

当ファンドの投資対象ファンドは、世界の株式に投資します。したがって、世界の経済および市場動向または組入株式の発行会社の経営・財務状況等に応じて組入株式の株価および配当金変動し、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

■ 為替変動リスク

外貨建ての投資信託証券を投資対象とします。当該投資信託証券に対して為替ヘッジを行いません。また、当ファンドの投資対象ファンドは、外貨建資産に投資を行いません。したがって、為替レートの変動が当ファンドの運用成果に影響を与えます。

■ カントリー・リスク

当ファンドの投資対象ファンドは、エマージング(新興)市場の発行体が発行する株式にも一部投資します。エマージング諸国の経済は、先進諸国に比べて不安定であり、その株式市場を取り巻く社会的・経済的環境はより不透明な場合が多く、エマージング諸国の政府は自国経済を規制または監督するうえで大きな影響力を行使することがあります。したがって、先進国市場に投資する場合に比べて、投資先の国の政治・経済事情、通貨・資本規制等の要因により、より大幅に株価が変動することが考えられ、それに伴い当ファンドの運用成果に影響を与えます。

■ 債券投資のリスク

当ファンドの投資対象ファンドは、債券に投資します。債券の価格は、政治、経済、社会情勢等の影響により金利が上昇すれば下落し、金利が低下すれば上昇します。したがって、金利の変動が当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、投資した債券の発行体の財務状況により、債務不履行が生じることがあります。債務不履行が生じた場合には、債券価格が下落する等、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

■ デリバティブ取引のリスク

当ファンドの投資対象ファンドは、先物・オプション取引などのデリバティブ取引を用いることができます。このような投資手法は現物資産への投資に代わって運用の効率を高めるため、または証券価格、市場金利、為替等の変動による影響から投資対象ファンドを守るために用いられます。デリバティブ取引を用いた結果、コストとリスクが伴い、当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、デリバティブ取引は必ず用いられるわけではなく、用いられたとしても本来の目的を達成できる保証はありません。

その他の留意点

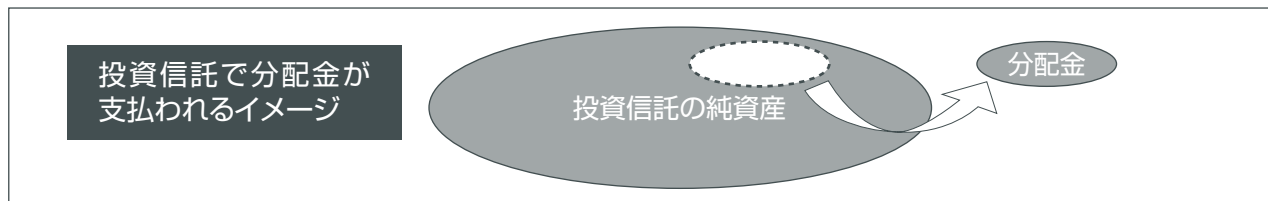
当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

リスクの管理体制

委託会社ではリスク管理を重視しており、独自開発のシステムを用いてリスク管理を行っております。具体的には、運用担当部門とは異なる部門においてファンドの投資リスクの計測・分析、投資制限のモニタリングなどを行なうことにより、ファンドの投資リスクが運用方針に合致していることを確認し、その結果を運用担当部門にフィードバックするほか、社内関係者で共有しております。また、委託会社の業務に関するリスクについて社内規程を定めて管理を行っております。

収益分配金に関する留意事項

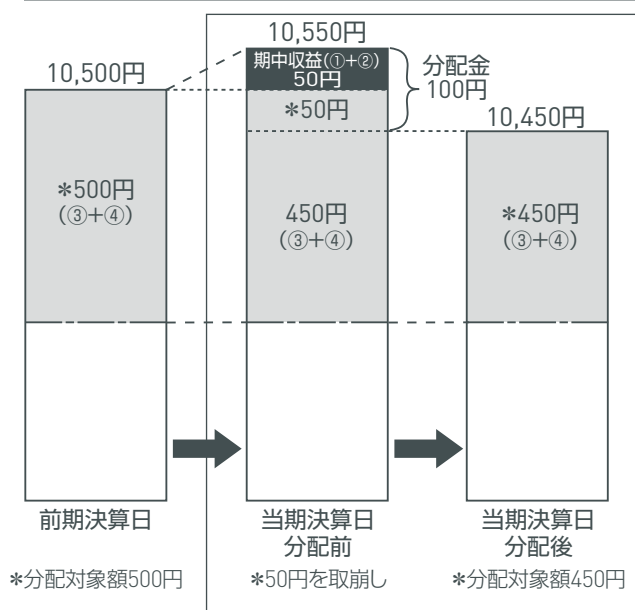
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払されると、その金額相当分、基準価額は下がります。



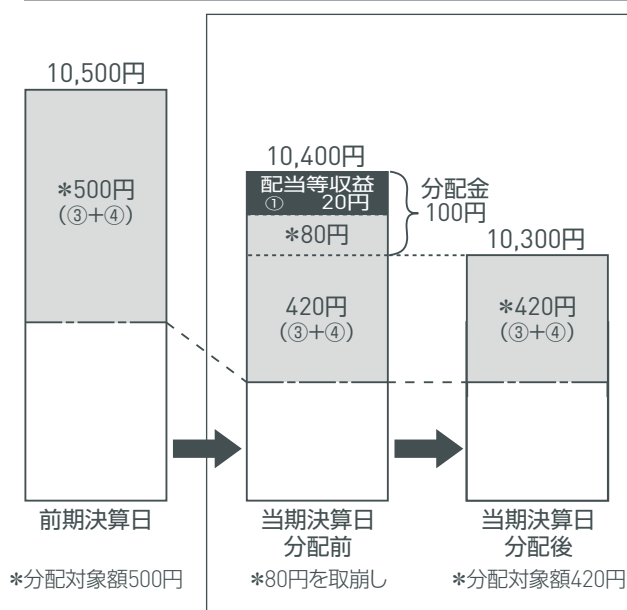
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合

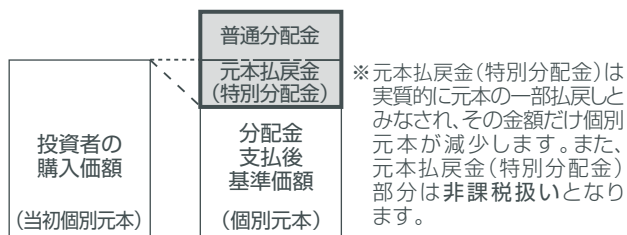


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

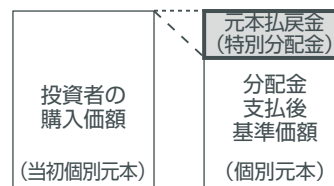
※ 上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より計算期間中の基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

※ 普通分配金に対する課税については、後記「手続・手数料等」の「ファンドの費用」をご参照ください。

手続・手数料等

お申込みメモ

| | |
|--------------------|--|
| 購入単位 | 分配金の受取方法により、一般コースと累積投資コースの2つのコースがあります。購入単位および取扱いコースは販売会社によって異なります。詳細は販売会社にお問い合わせください。 |
| 購入価額 | 購入受付日の翌営業日の基準価額 |
| 購入代金 | 販売会社が定める期日までにお支払いください。 |
| 換金単位 | 換金単位は、販売会社によって異なります。詳細は販売会社にお問い合わせください。 |
| 換金価額 | 換金受付日の翌営業日の基準価額 |
| 換金代金 | 換金代金は原則として、換金受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。 |
| 申込締切時間 | 午後3時までに受付けたものを当日のお申込みとします。ただし、受付時間は販売会社によって異なることがあります。詳細は販売会社へお問い合わせください。 |
| 換金制限 | 大口の換金の申込には制限があります。詳細は販売会社にお問い合わせください。 |
| 購入・換金申込受付不可日 | ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ルクセンブルグの銀行のいずれかの休業日に該当する場合は、販売会社の営業日であっても購入・換金は受け付けません。 |
| 購入・換金申込受付の中止および取消し | 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の受付を中止・取消しする場合があります。 |
| 信託期間 | 無期限(設定日：2005年9月28日) |
| 繰上償還 | 当ファンドは換金により受益権の口数が30億口を下回るようになった場合、または投資者のため有利と認められる場合、その他やむを得ない事情が発生したとき等には、信託期間の途中でも信託を終了(繰上償還)させる場合があります。 |
| 決算日 | 毎月25日(ただし休業日の場合は翌営業日) |
| 収益分配 | 毎決算時に収益分配方針に基づき分配します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 <累積投資コース>を選択された場合の収益分配金は、税引き後自動的に無手数料で再投資されます。 |
| 信託金の限度額 | 信託金の限度額は、5,000億円とします。 |
| 公告 | 投資者に対してする公告は日本経済新聞に掲載します。 |
| 運用報告書 | 毎年2月および8月の決算時および償還時に、委託会社が期間中の運用経過のほか信託財産の内容、有価証券売買状況などを記載した「交付運用報告書」を作成し、ご購入いただいた販売会社からあらかじめお申し出いただいた方法にて知れている受益者にお届けいたします。 |
| 課税関係 | 課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除または益金不算入制度の適用はありません。 |

ファンドの費用

■ ファンドの費用

| 投資者が直接的に負担する費用 | | (各費用の詳細) | |
|--|--|---|---|
| 購入時手数料 | 購入受付日の翌営業日の基準価額に3.24%*(税抜3.00%)を上限として、販売会社が独自に定める率を乗じて得た額。 詳細は販売会社にお問い合わせください。 *消費税率が10%になった場合は、3.30%となります。 | 購入時の商品説明、販売に関する事務手続き等の対価 | |
| 信託財産留保額 | ありません。 | — | |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 | | (各費用の詳細) | |
| 運用管理費用 (信託報酬) | ファンドの純資産総額に対して年1.2744%*(税抜1.18%)の率を乗じて得た額 ※運用管理費用(信託報酬)は、日々計上され、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。 ※投資対象ファンドにかかる報酬相当額は、委託会社の信託報酬より支払われます。 *消費税率が10%になった場合は、年1.298%となります。 | 運用管理費用(信託報酬)=運用期間中の基準価額×信託報酬率 | |
| | 運用管理費用の配分 | | |
| | (委託会社) | 年0.648%* ¹ (税抜0.60%) | ファンドの運用、基準価額の計算、運用報告書等各種書類の作成等の対価 |
| | (販売会社) | 年0.594%* ² (税抜0.55%) | 運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| | (受託会社) | 年0.0324%* ³ (税抜0.03%) | 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価 |
| * ¹ 消費税率が10%になった場合は、年0.660%となります。 * ² 消費税率が10%になった場合は、年0.605%となります。 * ³ 消費税率が10%になった場合は、年0.033%となります。 | | | |
| その他の費用・手数料 | 目論見書の作成費用、運用報告書の作成費用、ファンドの財務諸表監査に関する費用等の諸費用について、ファンドの純資産総額の年0.108%*(税抜0.10%)を上限として、日々計上され、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払うことができます。 ファンドの諸経費、外貨建資産の保管費用等についてその都度、ファンドから支払われます。 また、投資対象ファンドに係る保管報酬、事務処理に要する諸費用が別途投資対象ファンドから支払われます。 ※その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。 *消費税率が10%になった場合は、年0.11%となります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ファンドの諸経費：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息等 ●外貨建資産の保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 | |

※当該手数料および費用等の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので表示することができません。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料は、消費税および地方消費税に相当する金額を含みます。